

地域計画

策定年月日	令和7年3月27日
更新年月日	令和8年6月4日 (第1回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	羽生市 11216
地域名 (地域内農業集落名)	藤井下組(基盤整備実施)地区 (流、油)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	9.99 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	9.99 ha
② 田の面積	9.99 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	9.99 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	5.9 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<p>1 令和3~4にほ場整備事業(埼玉型)を活用し、約4haのほ場整備を行った(第一期)。また、R6~7にかかかって約6haのほ場整備を実施予定(第二期)。                  ※第二期エリアについては、地盤の高低差が大きく、区画拡大が難航している状況。                  2 多面的機能支払交付金事業を活用している(組織名:藤下環境保全会)。                  3 地区内における担い手が決められていることから、地域の実情に応じて担い手への農地集積・集約を進める。</p> <p>【地域の基礎的データ】                  農業者7名(うち担い手4名)                  主な作物:水稻</p>
---

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<p>1 主要作物は水稻。                  2 地域の実情に合わせて、地区内で決められた担い手に農地集積・集約を行う。                  3 ほ場に面している農道・水路・法面及び畦畔の管理については、近隣ほ場や他の耕作者の営農に支障が出ないよう、原則、当該ほ場を耕作している耕作者にて適切な管理を行う。                  4 地域内における定期的な話し合いの場を設け、地域農業の現状・共有を行う。                  5 多面的機能支払交付金事業を継続して活用していく。</p>
---

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
地区内で決められた担い手への農地集積・集約化に取り組む。また、定期的な話し合いの場を設けて地域農業における現状の把握と共有に努め、持続的な農地利用を図る。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	82 %	将来の目標とする集積率	83 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
地域の実情に応じて、地区内で決められた担い手への農地集積・集約を行う。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
引き続き農地中間管理事業を活用して、地域の実情に合わせた担い手への農地集積を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
引き続き農地中間管理事業を活用した農地貸借を行う。
(3) 基盤整備事業への取組
【実施済み】 埼玉型ほ場整備事業(R3~4) 【実施中】 埼玉型ほ場整備事業(R6~7)
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
加須農林振興センター及び市町村において新規就農相談を受けた際には、地元農業者と連携して農地の斡旋や指導者の選定、アフターフォローを行うなど、地域一体となって新規就農者の定着に取り組む。 また、行政機関及びJAで行っている就農支援の周知・PRを行い、市内外問わず若年層や定年退職者など多様な経営体(農業を担う者)の確保・育成を図る。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
水稲・麦の病害虫防除については、農業者の任意でJAに委託することが可能。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

ほ場に面している農道・水路・法面及び畦畔の管理については、近隣ほ場や他の耕作者の営農に支障が出ないよう、原則、当該ほ場を耕作している耕作者にて適切な管理を行う



4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農 1	水稻	0.80 ha	ha	水稻	0.80 ha	ha	1	担い手
2	認農 2	水稻	1.20 ha	ha	水稻	0.95 ha	ha	2	担い手
3	利用者 3	水稻	0.58 ha	ha	水稻	0.58 ha	ha	3	
4	認農 4	水稻	3.32 ha	ha	水稻	3.32 ha	ha	4	担い手
5	認農 5	水稻	2.89 ha	ha	水稻	3.14 ha	ha	5	担い手
6	利用者 6	水稻	0.70 ha	ha	水稻	0.70 ha	ha	6	
7	利用者 7	水稻	0.51 ha	ha	水稻	0.51 ha	ha	7	